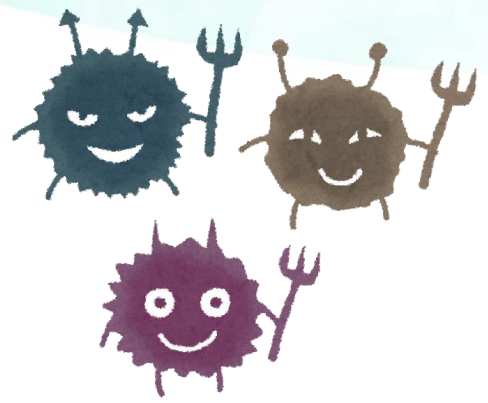
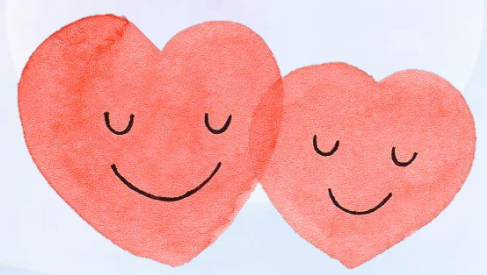
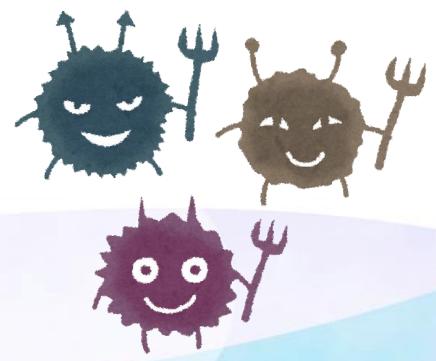


ちから あ
みんなで力を合わせて





かんせん
コロナウイルスの感染が、
また、^ふ増えてきました。





きよねん はる とつぜん きゅうこう

去年の春、突然の休校となり、

ともだち あ

お友達としばらく会えなかったこと、

がっこう はじ

学校は始まって

だいじ ぎょうじ えんき ちゅうし

大事な行事の延期や中止になったこと、

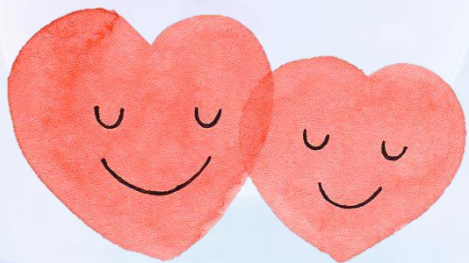
がまん がんば

たくさん、我慢して頑張ってきましたね。





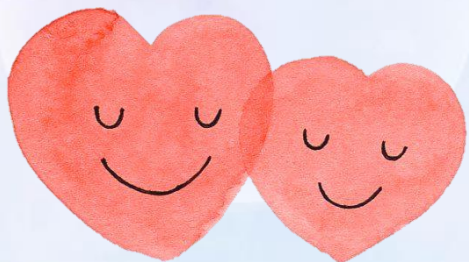
かなら にちじょう もど しん
必ずまた、日常が戻ること信じて
いまいちど ちから あ
今一度、みんなと力を合わせて
まも たの
ルールを守って楽しくすごすため、
なに ひつよう
何が必要かな。





まずは、

かんせん 感染を よぼう しっかり予防するために！

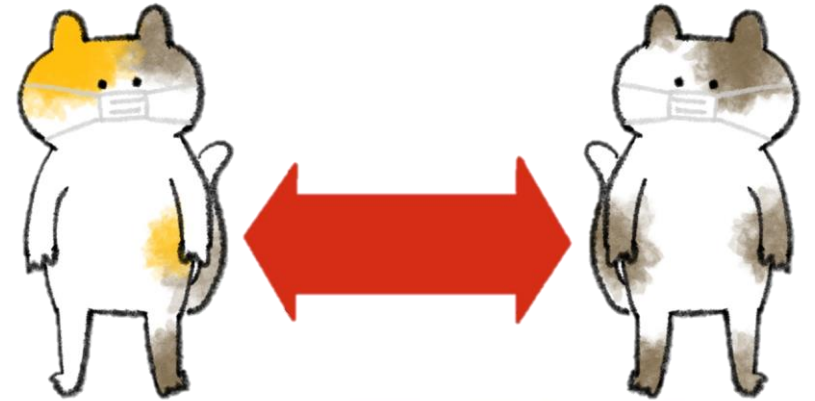


いちどかくにん

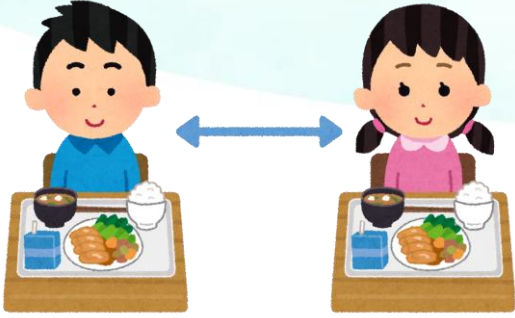
もう一度確認しよう！

てあら

手洗い・マスク・ソーシャルディスタンス



き つ ばめん こんなときはとくに気を付けて！『5つの場面』



ばめん いんしょく あつ など
場面① 飲食をする集まり等

せま くうかん ちょうじかん おおにんずう す
・狭い空間に長時間、大人数で過ごす

かんせん たか
感染リスクが高まるよ。

まわ の はし きょうゆう さ
・回し飲みや箸などの共有も避けて

じゅうぶん きょり
十分な距離をとろう。



ばめん かいわ
場面③ マスクなしでの会話

いどうじ くるま なか
・移動時の車やバスの中も
気を付けよう。



ばめん おおにんずう ちょうじかん いんしょく
場面② 大人数や長時間の飲食

おおにんずう ごにんいじょう あつ
・大人数（5人以上）の集まりは

こえ おお
声が大きくなりやすく

ひまつ
飛沫がとびやすくなるので、

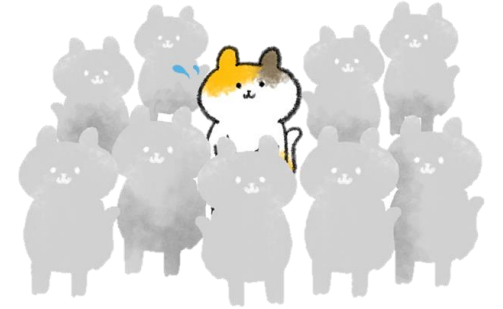
かんせん たか
感染リスクが高くなるよ。



ばめん せま くうかん きょうどうせいかつ
場面④ 狭い空間での共同生活

ちょうじかん へいさくうかん きょうゆう
・長時間の閉鎖空間の共有で

かんせん たか
感染リスクが高くなるよ。



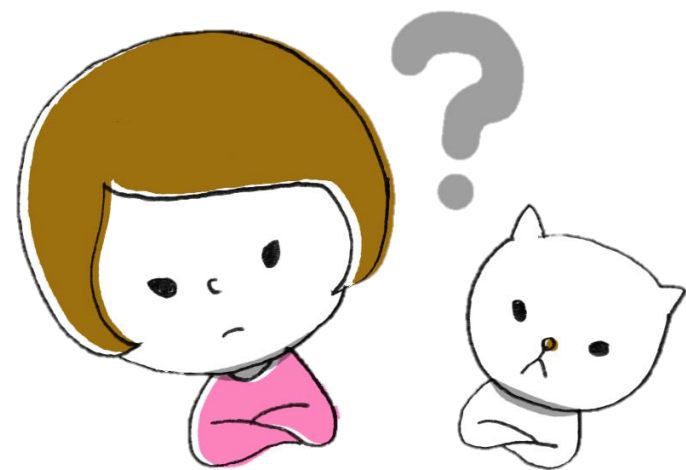
ばめん いばしょ か
場面⑤ 居場所が変わる

きゅうけいじかん はい とき
・休憩時間に入った時や
場所が変わった時に

き ゆる かんせん
気が緩んで感染リスクが

たか
高くなることがあります。

ひと
もう一つ、とっても、
だいじ
大事なこと。



がっこう やす ともだち

学校を休んだお友達

かんせん ともだち

感染したかもしれないお友達

いりようかか しごと おや ともだち
医療に関わる仕事をしている親をもつお友達

かぞく かんせん ともだち
家族が感染したというお友達



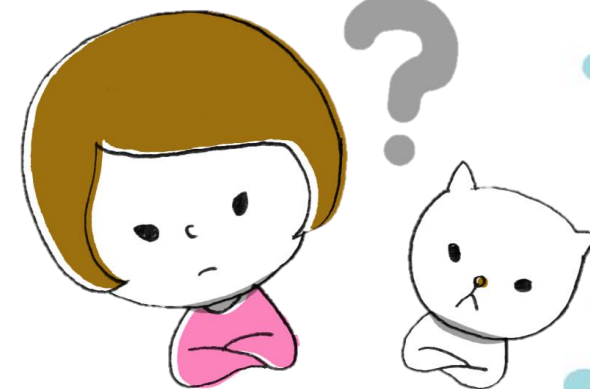
ともだち わるもの

このお友達は悪者？

ともだち

きん

このお友達は、ばい菌？



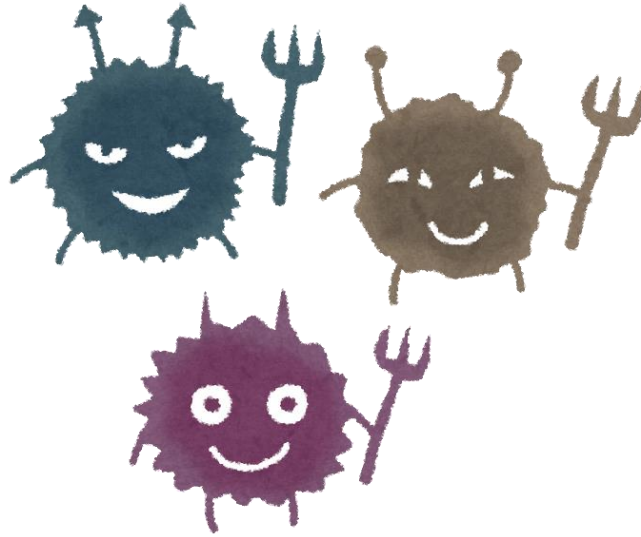
いっしょに遊ぶ^{あそ}ばない！ 仲間^{なかま}にはいれない！

ただ

これって正しい？



まちが
それは間違いです！

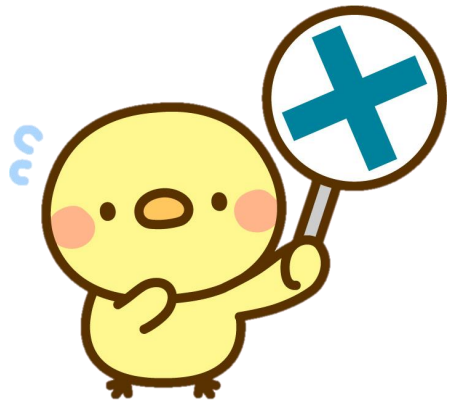


わるもの
悪者は、
めみ
目に見えない『ウィルス』です！！
ともだち だいじ なかま
どんな友達もみんなの大事な仲間です

あいて たい いっぽうてき
相手に対して一方的に、

しんたいてき しんりてき こうげき けいぞくてき くわ
身体的・心理的な攻撃を継続的に加えることで、

あいて しんこく くつう かん
相手が深刻な苦痛を感じたとき



こうげき
その攻撃を、
“いじめ”といいいます。



“いじめ”は、
ひと ひと ひと ところ ぎず
された人、それを見た人、の心を傷つけます。
ぎず とき かんたん なお
そのころの傷は時には、簡単には治らないこともあります。

あたまがいたい



あくむ
悪夢をみる



ねむ
眠れない



おなかがいたい



こわ
ひとにあうのが怖い

しょくよく
食欲がない

じつ ざんねん
そして、実は残念なことに
おとな しゃかい
『いじめ』は大人の社会もあるのです。



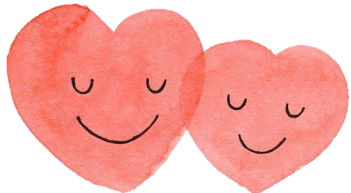
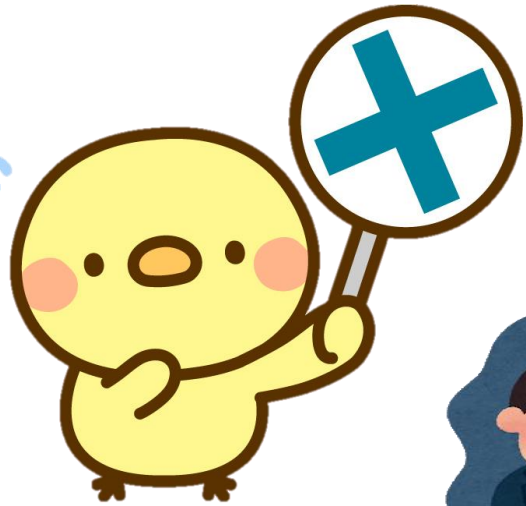
たようせい そんちょう ちがう たがい みとめあう
人の多様性を尊重し(人はそれぞれ違うことを互いに認め合うこと)

しゃかい
こころあたたかい社会をつくるため、

わたし なに
私たちは何ができるでしょうか。

いっしょ かんが

みんなと一緒に考えたいのです。



“いじめ”を

みたり、されたり、そして、もししてしまったら。。。。



いや・だめ!^いだと言ってみよう




そして、^{しんらい}信頼できる^{おとな}大人に^{はな}話してみよう



そこから^{はな}離れてみよう





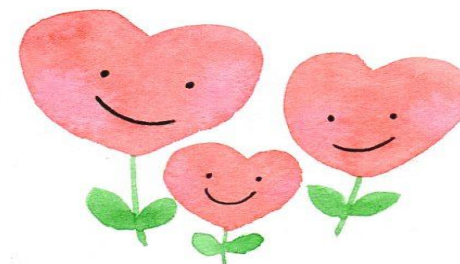
みなさんのかけがえのないな^{やさ}優しさと
一人一人の^{ゆうき}勇気を
^{わたし}私たちの^{しゃかい}社会は^{ひつよう}必要としています。

^{こま}困ったことがあったら、一人でかかえこまないで。
^{そうだん}相談してね。

一人じゃないよ ^{そうだん}こころ×子ども相談

kodomo-liaison@ncchd.go.jp

大人のみなさまへ



日々、それぞれの立場で
子どもたちの生活を守ってくださっておられることに、
こころから感謝申し上げます。

非日常の連続では、大人もストレス状態が続きます。
どうか今一度ご自身のセルフケアを大事にしてください。
そして、“人の多様性を尊重する”という考え方を今一度、
子どもたちと考えていきたいですね。

